



水原 耕一 議員

### Q 移住・定住に向け各世代の事業の充実は

A <総務部長>

「熊野町総合計画」の基本理念に基づき取り組んでいく。

【Q1】 高齢者の方には、インフルエンザワクチン接種の補助がある。12歳以下の子ども達は、ワクチンを2回接種しないといけない。子ども達に対しても、補助は行えないか。

【A1】 予防接種法施行令により、定期接種となる高齢者には補助がある。任意接種となる12歳以下の補助については、国の動向をみて対応していく。

【Q2】 家を建てる時には、定住支援補助がある。長年住み続けた方に対して、リフォーム支援の制度は作れないか。

【A2】 現在、顕在化しつつある空き家対策と連動して研究していく。

【Q3】 車の運転ができない高齢者の方へ、町内路線バス乗車の、補助化はできないか。

【A3】 交通弱者対策として「おでかけ号」を運行している。現時点での路線バス乗車の補助化は考えていない。

【Q4】 雨が降るたびに不安視される急傾斜崩壊地、定期的な検査は行われているか。

【A4】 豪雨時等にはパトロールを行なっている。引き続き、斜面の状況等に応じて、柔軟な箇所選定を行っていく。



沖田 ゆかり 議員

### Q コロナ禍における今後の町づくりは

A <町長>

町行財政への影響をよく見極め、必要な対策や今後の事業を展開していく。

【Q1】 乳幼児を抱えての避難が不安であるとの保護者の声が多く、密を避けるためにも、こども夢プラザを避難所として使用できないか。

【A1】 今すぐ専用の施設ということは難しい。

【Q2】 給与の減額や失業などで家計における医療費の負担が大きく、医療費助成の対象を、他市町と同じ小学3年生までに拡大していただきたいか。

【A2】 実行する方向で考えるので、2年から3年、辛抱して頂きたい。



【Q3】 町内の小中学校で、コロナやインフルエンザなどにより学級閉鎖や臨時休業になった場合についても年度末までに授業を終えることができるのか。

【A3】 遅れた授業の取戻しはできている。時間に余裕を持った形で進めている。

【Q4】 筆の里工房周辺の整備事業については、土砂災害の発生した場所での事業計画に不安視する声もある。観光交流拠点整備については、事業を抑制するべきでは

【A4】 財政的にも災害や新型コロナウイルスの対応で想定外の支出が必要となっていることから再度検討が必要と考えている。



伊田 耕平 議員

### Q 住民の迷惑行為に対する対応は

A <町長>

迷惑行為に関する条例の根拠となる法律の制定を議員と共に国会議員に要望したい。

【Q1】 住民が公衆に対し、生命、財産、安全を脅かす悪質な迷惑行為（ごみ屋敷・倒壊のおそれのある空家・騒音・猫等の動物への餌やりなど）を行っている場合は、必要に応じて自治体も関与する必要があると思う。社会的な義務を果たさない者に対してはしかるべき措置をとる必要があると思うか。

【A1】 法令、条例等に抵触しない迷惑行為については、当事者間で解決を図るものと認識している。弁護士をはじめとする専門の相談窓口を紹介するなど、円満な解決を心がけて対応している。

【Q2】 ある行政課題に対して条例が先行して制定された後、後追的に法律が制定されることは少なくない。逆に、法律はできているのに条例整理が追いついていないケースの自治体というのがある。

全国的には、いわゆる迷惑行為防止条例など策定している自治体もあるが、本町でも社会問題や時代のニーズに対応した迷惑行為に関する条例の早急な整備を強く要望するかどうか。

【A2】 迷惑行為に関わる条例には罰則規定が無いと強制力がない。罰則を設けるとなると検察庁などかなりの協議が必要となる。罰則を付けるなら法律で作るのが一番簡単。必要ならば今後策定を検討していきたいと思っている。もう少し時間をいただきたい。

Q <荒瀬 穂積 議員>

### 政治は結果責任。町民の命を守る覚悟は

A <町長>

反省はしている。犠牲者を出さないよう各種施策を講じる責任は行政にある。



▲大原ハイツ砂防堰堤

【Q1】 政治家（町長・議員）の結果責任が問われている。

平成30年7月豪雨では12名の命を失った。2年後やっと町長は反省を述べた。その内容を伺いたい。

当日、坂町は17時半に発令。本町は19時発令（避難3条件が揃った50分後）。

空白の50分間に何をしていたか。

【A1】 避難3条件（前兆雨量、土砂災害警戒情報）が揃い発令までに手間取ったことは認め深く反省している。50分については、犠牲者が出たことと直接結びつけることについては答えが難しい。